

2023 SUPER FORMULA Round.6

All Photographs by Noriaki MITSUHASHI, N-RAK PHOTO AGENCY



全日本スーパーフォーミュラ選手権 2023 第6戦
2023年7月15日(土)～16日(日)
富士スピードウェイ(静岡県)

フリー走行

7月15日(土) 天候:曇り 路面:ドライ

第5戦 SUGO では大嶋和也が1カー体制ながら殊勲とも言える4位入賞を果たし、docomo business ROOKIE はチームの士気を大きく上げ、2023年の全日本スーパーフォーミュラ選手権第6戦を迎えた。第5戦から約1ヶ月のインターバルで迎える一戦の舞台は、チームの地元である静岡県の富士スピードウェイ。すでに今季は一度レースを行っているほか、第5戦の直後に行われた合同テストでも多くのデータを得ていた。

そんな一戦に向け、チームはさらなる上位進出に向けて気合十分で臨んだ。迎えた7月15日(土)の予選日は、天候は曇り。午前9時から行われたフリー走行は気温24度/路面温度28度というコンディションで迎えた。大嶋はコースオープン後、4～6周のショートランを繰り返しながら、

セットアップの確認などさまざまな作業を行っていく。ただ途中、パワステのトラブルが発生してしまい、修復に時間をとられてしまった。このトラブルの原因はすぐに特定できたが、さらに開始から1時間06分というタイミングでは、アドバンコーナーで1台ストップ車両が出たことから一時赤旗中断となるなど、貴重な走行時間を失ってしまう。大嶋はその後もう一度コースインした後、チェッカー直前にアタックシミュレーションを実施。最終的にこのフリー走行でベストとなる1分23秒497を記録し、18番手で走行を終えることになった。

順位としては下位ではあるが、多くの予想どおり上位から下位まではかなりの僅差。トップから大嶋までタイム差は1.020秒しかない。

ただ大嶋の感触はあまり良いもので

はなく、「合同テストでの感触はそれほど悪くはなくて、そこから大きな変更は行ってないんです。しかも気温もほとんど変わらない。でも雰囲気はぜんぜん違う」という状況。もちろん、

昨シーズンまでのように苦戦を強いられていた時期からは大きく前進しているのは間違いないが、午後の公式予選に向けて悩ましい時間を過ごすことになった。



第6戦 公式予選

7月15日(土) 天候:曇り 路面:ドライ



午後2時20分からスタートした公式予選は、気温25度/路面温度29度というコンディションのもと始まった。大嶋は今回B組から出走することになったが、その直前のA組では、Hondaエンジン搭載車が上位を占める展開。B組でもHonda勢が速いことが予想された。

そんななか、大嶋は一度ピットに戻った後、チェッカーのタイミングに合わせて再コースイン。計測5周目にアタックを行うと、1分23秒613というタイムを記録する。ただ、終わってみればB組の9番手。今回はQ2進出を果たすことができなかった。

「フリー走行よりもバランスは良くありませんでしたが、タイムが変わらないんです。ただ乗りやすさはあるから決勝には良いのかもしれませんが」と大嶋。

また石浦宏明監督は「決勝日の気温、路面温度が上がることを見越してクルマを持ち込んでいますので、そこでグリップが出せなかったのかもしれませんが。とはいえ、ちょっとドライバーには迷惑をかけたかもしれないです」と分析した。

悔しい予選となったが、決勝では大きく勢力図も変わる可能性がある。追い上げを目指すべく、チームは決勝日に向けて準備を進めた。

第6戦 決勝レース

7月16日(日) 天候:晴れ 路面:ドライ

迎えた7月16日(日)の決勝日、富士スピードウェイは『スーパーフォーミュラ夏祭り』と題したイベントが行われ、多くのファンが朝からサーキットを訪れた。天候は曇りで、前日にチームや石浦監督が予想したほど気温は上がらなかったが、午前9時20分から行われたフリー走行も気温25度というコンディションとなった。

ここでレースに向けたセットアップを確認した大嶋は、豊田章男チームオーナーも駆けつけるなか迎えた午後2時30分からの決勝レースに臨んだ。大嶋のスタートは悪いものではなく、TGRコーナーでの激しい競り合いを接触することなく抜け、まずはオープニングラップをグリッドどおりの17番手で終えた。

大嶋は3周目、接触によりペースが下がった#3 山下健太をとらえ16番手に浮上したが、後方から好ペースで走る#4 小高一斗が接近。9周目に先行を許した。とはいえ、チームは今回

も10周目のウインドウオープンとともにピットインを計画しており、大嶋は予定どおりピットレーンに向けステアリングを切った。

docomo business ROOKIEのクルーは、ここで石浦監督、そして大嶋の期待に応え抜群の作業スピードをみせた。10周目以降、序盤のアンダーカットを狙っていたライバルたちも相次いでピットインを行うが、その度にライバルたちは大嶋の後方に入っていく。練習を重ねた迅速なピット作業がポジションアップに繋がったのだ。

そんなクルーたちの動きに応えるかのように、大嶋のペースもタイヤの内圧向上とともに上がっていく。スタート直後、燃料が多い状態ではフィアリングに苦しんでいた大嶋だったが、レース終盤には感触が良くなりペースも上がっていく。ピットイン時に履いたニュータイヤ装着後にしか出ていなかった1分25秒台のラップタイムが、29周目以降立って続けに出るようになっていった。

30周目、全車がピット作業を終えると、大嶋の順位は13番手。後方からは#12 福住仁嶺が接近したが、これを大嶋はしっかりと退けた。さらに大嶋はペースアップにともない、少しずつ前を走る#38 坪井翔とのギャップを縮めていった。



レース終盤の大嶋のペースがあればさらなるポジションアップはあったかもしれないが、今回のレースは大きなアクシデントなどが起きず、セーフティカーランによってギャップが縮められることはなく41週のレースを終えることになった。40周目、9番手を走っていた#53 大津弘樹がストップしたことによる1ポジションアップのみで、大嶋の順位アップは12位まで。ポイント獲得まであとわずかでのフィニッシュした。

前戦SUGOでも証明されたとおり、予選Q2進出を果たすあとわずかのスピードがあれば、十分上位争いをする事ができるが、今回はそのスピード

がわずかに足りなかった。とはいえ、予選順位から大きくポジションを上げられる決勝の強さとチーム力は、今回も証明できたと言える。

次戦の舞台は栃木県のモビリティリゾートもてぎ。docomo business ROOKIEはさらなるスピードアップに向け取り組んでいく。

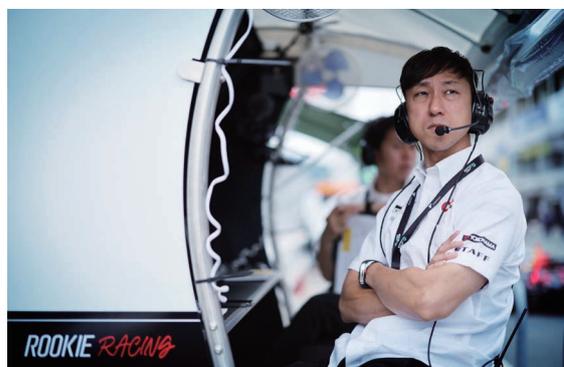


第6戦 ドライバー／監督コメント



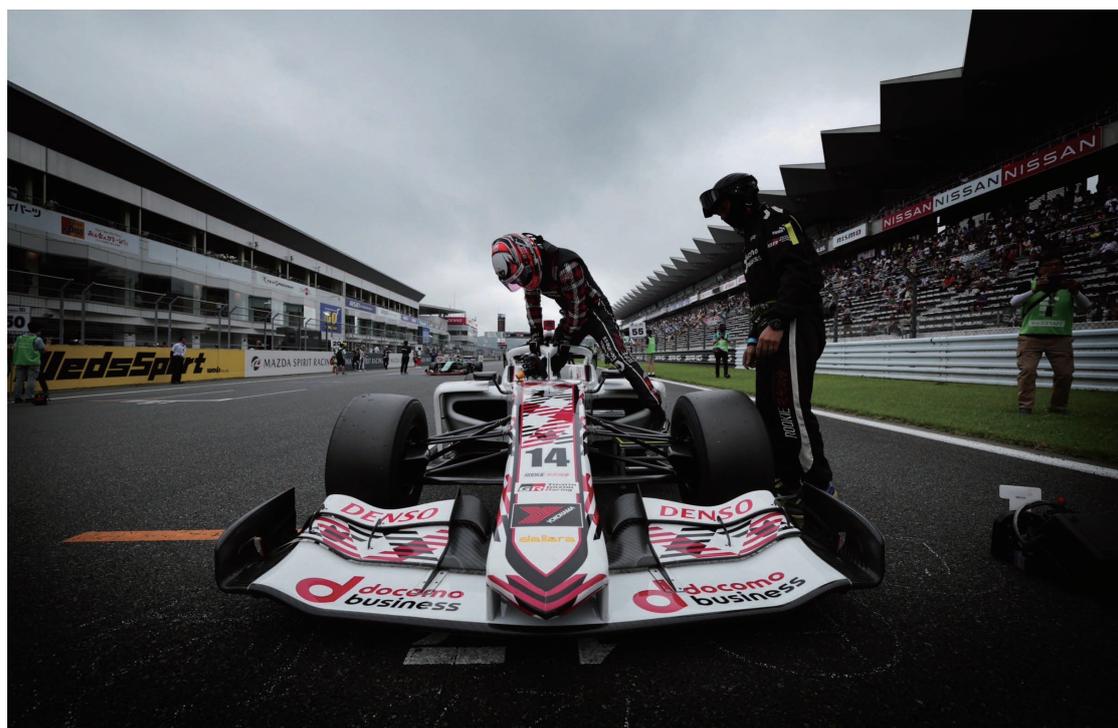
DRIVER **大嶋 和也** Kazuya OSHIMA

「朝のフリー走行からセクター3のトラクションも良くなり、レースでもいけるかと思っていましたが、タイヤの内圧が序盤は上がっておらず、それが影響したのかなかなかグリップしませんでした。ただレース後半はすごくペースが良くなりましたね。そういったケースは今までもあったので、その要因がなんなのかしっかりと突き止めたいですね。ここ数戦は精度も上がってデータも採りやすくなっているので、ヒントを得たいと思っています。もともと富士でのレースは難しいと思っていましたが、次戦のもてぎはクルマのバランスさえとれていれば、ある程度戦えるコースだと思っています。富士はバランスが良くてもパフォーマンスが良くなければいけませんからね。次戦に向けてみんなで良いクルマを作れるよう頑張っていきたいと思っています」



DIRECTOR **石浦 宏明** Hiroaki ISHIURA

「ポイントには届きませんでしたが、オフシーズンからメカニックの皆さんがずっとピット作業の改善に取り組んでいて、そのプロセスやメンタルなど努力を積み重ねてきたことで、このところ安定して作業ができるようになっていました。今回もものすごく作業が速く、大嶋選手のポジションを押し上げる要因になったと思います。これが監督としていちばん今回のレースで嬉しかったことですね。チームとして順位を上げることができたと思いますので、今後も続けていきたいですね。また今回、燃料が重いときのバランスが悪くペースが苦しかったのですが、それが逆にヒントになると思います。次戦以降に向けて参考になることがたくさんありました。今回バトルもありましたが、戦えるクルマにはなっているので、さらにペースを上げていきたいと思っています」



全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 リザルト

7月15日 第6戦フリー走行

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA	1'22.477
2	15	L. ローソン	TEAM MUGEN	HONDA	1'22.601
3	65	佐藤蓮	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA	1'22.766
4	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA	1'22.837
5	37	宮田莉朋	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA	1'22.920
6	36	菅原右京	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA	1'22.934
7	20	平川亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA	1'22.957
8	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA	1'22.961
9	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA	1'22.985
10	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA	1'23.010
11	12	福住仁嶺	ThreeBond Racing	HONDA	1'23.033
12	6	太田格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA	1'23.035
13	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA	1'23.046
14	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA	1'23.113
15	18	国本雄資	Kids com Team KCMG	TOYOTA	1'23.196
16	7	小林可夢偉	Kids com Team KCMG	TOYOTA	1'23.261
17	19	関口雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA	1'23.290
18	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA	1'23.497
19	4	小高一斗	KONDO RACING	TOYOTA	1'23.605
20	53	大津弘樹	TGM Grand Prix	HONDA	1'23.677
21	55	C. プリュックバシエ	TGM Grand Prix	HONDA	1'23.840
22	51	R. ハイマン	B-Max Racing Team	HONDA	1'24.007

7月15日 第6戦公式予選

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA	1'22.063
2	15	L. ローソン	TEAM MUGEN	HONDA	1'22.242
3	6	太田格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA	1'22.331
4	65	佐藤蓮	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA	1'22.428
5	37	宮田莉朋	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA	1'22.457
6	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA	1'22.570
7	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA	1'22.571
8	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA	1'22.725
9	53	大津弘樹	TGM Grand Prix	HONDA	1'22.862
10	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA	1'22.889
11	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA	1'22.892
12	12	福住仁嶺	ThreeBond Racing	HONDA	1'31.654
13	19	関口雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA	1'23.376
14	7	小林可夢偉	Kids com Team KCMG	TOYOTA	1'23.219
15	18	国本雄資	Kids com Team KCMG	TOYOTA	1'23.543
16	36	菅原右京	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA	1'23.228
17	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA	1'23.613
18	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA	1'23.242
19	55	C. プリュックバシエ	TGM Grand Prix	HONDA	1'23.627
20	20	平川亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA	1'23.357
21	51	R. ハイマン	B-Max Racing Team	HONDA	1'24.328
-	4	小高一斗	KONDO RACING	TOYOTA	1'32.615

7月16日 第6戦フリー走行

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	4	小高一斗	KONDO RACING	TOYOTA	1'24.311
2	20	平川亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA	1'24.320
3	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA	1'24.390
4	65	佐藤蓮	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA	1'24.480
5	18	国本雄資	Kids com Team KCMG	TOYOTA	1'24.495
6	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA	1'24.588
7	15	L. ローソン	TEAM MUGEN	HONDA	1'24.623
8	37	宮田莉朋	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA	1'24.635
9	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA	1'24.662
10	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA	1'24.680
11	19	関口雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA	1'24.786
12	7	小林可夢偉	Kids com Team KCMG	TOYOTA	1'24.790
13	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA	1'24.817
14	53	大津弘樹	TGM Grand Prix	HONDA	1'24.883
15	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA	1'24.885
16	36	菅原右京	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA	1'24.888
17	6	太田格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA	1'24.911
18	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA	1'24.945
19	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA	1'24.955
20	12	福住仁嶺	ThreeBond Racing	HONDA	1'25.065
21	55	C. プリュックバシエ	TGM Grand Prix	HONDA	1'25.142
22	51	R. ハイマン	B-Max Racing Team	HONDA	1'25.784

7月16日 第6戦決勝

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Laps	Gap
1	15	L. ローソン	TEAM MUGEN	HONDA	41	
2	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA	41	4.453
3	37	宮田莉朋	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA	41	15.235
4	20	平川亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA	41	19.278
5	65	佐藤蓮	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA	41	19.674
6	6	太田格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA	41	20.781
7	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA	41	21.193
8	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA	41	26.496
9	7	小林可夢偉	Kids com Team KCMG	TOYOTA	41	31.813
10	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA	41	32.43
11	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA	41	43.262
12	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA	41	45.106
13	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA	41	48.782
14	4	小高一斗	KONDO RACING	TOYOTA	41	49.543
15	18	国本雄資	Kids com Team KCMG	TOYOTA	41	54.504
16	12	福住仁嶺	ThreeBond Racing	HONDA	41	56.374
17	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA	41	58.136
18	55	C. プリュックバシエ	TGM Grand Prix	HONDA	41	1'01.595
19	36	菅原右京	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA	41	1'03.476
20	19	関口雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA	40	1Lap
21	53	大津弘樹	TGM Grand Prix	HONDA	39	2Laps

ROOKIE RACING

SUPER
FORMULA

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています

d docomo
business

DENSO

**OGURA
CLUTCH**

**HAYASHI
TELEMPU**

いつだって、アタランイコト。
VITEC
Creative Power

SMBC

KINTO

NSK

vūteq

TAMIYA



ENKEI

asics

ThreeBond

CISCO